



▼中横田集会所で行われた有害鳥獣被害防止対策研修会



10月30日(火) 中横田集会所で、有害鳥獣被害防止対策研修会が開催されました。同研修会は、地域で増加するサルやイノシシなどによる被害を防止するため、中横田区(松永博文区長96世帯)が開催。県上益城地域振興局の職員を講師に迎えて、電気柵や箱わなの設置などの被害防止対策の講義を受講し、参加者によるグループワークで被害地図を作成。区民など約40人が参加しました。

講義では「箱わなの設置場所は作物を栽培している田畑やその周辺ではなく、出没状況を確認して田畑に侵入するルート周辺を選定しましょう」と説明。講義後は、集落ごとに分かれて鳥獣による被害状況を地図に書き込み、箱わなの設置場所を検討しました。

松永区長は「地域みんなで協力して取り組んで、被害を防止することが必要です。今後も研修会を続けたいです」と話しました。

## 有害鳥獣対策を地域で学ぶ

有害鳥獣被害防止対策研修会 (中横田区)

## 統計調査協力に感謝状

益田信篤さん(下田口区)に農水省が贈呈

10月18日の「統計の日」を記念して、長年にわたって農家経営統計調査に協力した益田信篤さん(下田口区)に、農林水産大臣から感謝状が贈呈されました。

同調査は、農業生産物を販売する農家の農業経営収支などの動向を明らかにし、農政の資料を整備することを目的に実施される統計調査で、農林水産省が実施。

益田さんは、5年にわたって同調査に協力。その功績をたたえて、同省大臣から感謝状が贈呈されました。



▲農林水産大臣からの感謝状を受け取った益田さん



◀学校での取り組みを発表する白旗小児童たち

## いじめゼロへの取り組み

白旗小児童が熊本県人権子ども集会で発表

10月13日(土) パークドーム熊本(熊本市東区)で熊本県人権子ども集会が開催され、白旗小児童が学校での取り組みについて発表しました。

同集会は部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、人権が共存する人権尊重社会の実現を目指して開催される集会で、県教育委員会が主催。約8,000人が参加しました。

同集会に参加した白旗小学校(岩下勇治校長106人)の児童約40人は、1人ひとりの優しい声掛けを通して「いじめゼロで笑顔いっぱい白旗小にする取り組み」などについて、ステージ発表しました。

## 困ったときは相談しよう

### 龍野小学校で「人権教室」を開催

11月8日（木）龍野小学校で、「人権教室」が開催されました。

同教室は、同小（江上知男校長154人）が甲佐町人権擁護委員の沼田峰子さん（北原区）、芦原博幸さん（糸田区）、野仲俊一さん（上早川四区）、元村伴子さん（横田区）とともに「人権の花」運動の一環として実施。沼田さんが思いやりの大切さについて講話し、児童たちは真剣に耳を傾けました。

沼田さんは「悩んだり困ったりしたときは、相談してください」と呼び掛けました。



▲人権擁護委員の沼田さんが龍野小の「人権教室」で講話



▲町消防団ともちつきを楽しむ園児たち

## 防火もちつきで火災予防

### 町消防団と若草保育園幼年消防クラブ

11月9日（金）横田の若草保育園で、「防火もちつき」が行われました。

同イベントは「秋の全国火災予防週間」に合わせて、町消防団（松尾憲親団長460人）が幼年消防クラブを設置している同園（元村健正園長99人）で実施。団員とのもちつきを通して、消防団活動への理解と協力、火災予防の呼び掛けなどを目的に、本部役員や保護者なども参加。園児たちは大きな掛け声とともにきねを振り、火災予防を誓って力強くもちをつきました。

その後、町内の福祉施設などを訪問し、「防火の誓い」で火災予防を呼び掛けました。

## 教訓を活かして災害に備える

### 10月28日（日）町総合防災訓練を実施



▲町総合防災訓練に合わせて西寒野区公民館に開設した区の災害対策本部で災害対応の模擬演習を行う自主防災会のメンバー

10月28日（日）町内各地で、町総合防災訓練が行われました。

同訓練は、熊本地震を教訓として、大雨や台風、地震などの災害に迅速に対応できるように備えるため、町が主催。町消防団や自主防災組織など約2000人が参加し、訓練に取り組みました。

町の訓練は、前日から降り続く大雨の影響で地盤が緩んだ状態を想定して開始。町消防団や自主防災組織と連携して、被害の情報収集などに基づいた災害対策本部の設置までを演習。また、災害時の情報収集に関する職員研修も開催しました。

各区の訓練では、自主防災組織などを中心に、避難や炊き出し、消火の訓練が行われました。

西寒野区（小林敏朗区長130世帯）では、防災士の田浦末廣さん（同区）を中心に計画した防災訓練に区民約100人が参加。公民館に設置した災害対策本部に被害や要救助者などの情報を収集し、地図に落とし込みながら、避難所開設や避難誘導、救助者の搬送などについて、判断し実施する訓練に取り組みました。